

# 親子で学び、考え、行動する 子どもの安全確保

保護者の皆さんにとって、子どもの登下校は「交通事故にあわないか」「不審者に遭遇していないか」などの心配が尽きないですね。実際に2019年度に実施したアンケートでは、7割近くの保護者が「登下校の安全面で不安を感じたことがある」と回答されています。



本宿小学校では、保護者や教職員そして地域の皆様のご協力によって「旗振り見守り活動」や「青色回転灯車両による防犯パトロール」などが実施され、児童の安全に対するリスクの軽減が為されています。一方で、より一層の安全対策を期待される声も少なくありません。

**そんな私たち保護者に今、  
できることは一体何なの  
でしょうか？**

# 提案：私たち保護者にできること

## 1) 保護者が学ぶ

子どもの通学路や行動範囲に潜む危険について、まずは保護者が学んでください。

参考1) 本宿学区安全安心マップ(5月中に各家庭に配布予定)

参考2) 小学校における交通安全指導ワンポイントマニュアル(岡崎市防犯交通安全課)

[https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1555/1593/p023045\\_d/fil/190625.pdf](https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1555/1593/p023045_d/fil/190625.pdf) ワンポイントマニュアル



### <登下校時の防犯対策>

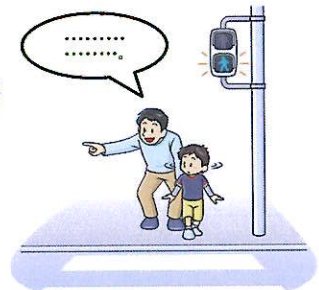
- ・できるだけ、ひとりにならない
- ・知らない人に声をかけられても、近づかない、ついていかない
- ・防犯ブザーをランドセルにつけ、いつでも鳴らせるようにする
- ・通学路にある「助けを求められる安全な場所」を把握する

### <交通事故予防対策>

- ・横断歩道では、青信号でも車が完全に停止したことを確認してから渡る
- ・車の姿が見えたら、無理に渡らず止まって待つ
- ・止まっている車の前を横切るときは、手を上げるなどしてアピールし、ドライバーと目をあわせる

## 2) 保護者から子どもに伝え、さらに行動で示す

言葉でルールを守るように言ったとしても、なかなか子どもにはうまく伝わりません。是非、**子どもと一緒に通学路を歩いて**危険場所を確認する、車移動の激しい場所をチェックする、不審者への対応方法などを教えるなど、**最も身近な大人として**良いお手本を示してあげてください。



児童引き渡し訓練日(運動会)、防災訓練日や休日など、それぞれのご家庭で都合よい日に実施しましょう。

### お気付きでしょうか？

見守り隊やパトロールを増員することは可能ですが、限界はあります。また、子どもが低学年のうちは保護者が付き添いするのも良いですが、「いつまでも」って訳にもいかないですね。

大人の見守りには限界がありますが、子どもの潜在力は無限です。子どもに迫る危険を取り除いてあげるのではなく、**子どもが自ら危険を回避する能力を育てる**という考え方もあるということを、親としてあらためて認識いただければ幸いです。



**“魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ”**